

2016 京都民医連看護学生新年のつと

Dr.石井の解剖生理学講座 vol.1



1月27日(水)18時から京都民医連会議室で、看護学生のための解剖生理学講座 vol.1を行いました。講師は京都民医連中央病院の研修医、石井慧先生です。

4学校・大学から19名が参加しました。

お題は学生の希望で「神経」と「ホルモン」。

“gyudon”、“oyakodon”、“tendon (腱)”・・・解剖生理はクスッと笑える面白い部分もあるんだよ、から始まった講義。ホルモンは“放るもん”でその名の通り、血中に放出される・・・など面白い話を織り交ぜながら、覚えるのではなく、「考える」という行為=思考プロセスを大事にしていこうという、正しい解剖生理の学び方が伝わる熱い講義でした。面白い小話をはさみながらの講演、またどんどん学生に当てながらテンポよく進む講義に、受講生の脳細胞も活性化！学生たちは、解剖生理を様々な角度から関連させて考えていくことの大切さ、また、多くの情報を整理しながら理解する、ということや解剖生理の面白さを実感することができた時間となりました。



【か・ん・そ・う】

- ◆神経や内分泌は、導入から全く理解できずに苦しんでいたのに、砕けた口調で大切な部分をしっかり強調して教えて下さったおかげで、難なく楽しみながら学ぶことができました。
- ◆とても分かりやすく興味をひかれる授業で、もっと聞きたいと思いました。
- ◆ゆかいなテンションで、つながりのある知識が学べてよかったです。
- ◆着目するところが教科書とちがって面白かったです。改めて考えてみると、なぜだろうと疑問に思うことが多いです。整理しながら勉強したいです。
- ◆考えさせてもらったので、記憶に残る講義でした。
- ◆先生の話が面白くて頭に入りました。楽しいです！
- ◆マニアックな話まで聞けたので、興味を持って聞けました。

さて、大好評につき、「**Dr.石井の解剖生理学講座 vol.2**」も開講の運びとなりました。

次回は・・・3月22日(火)京都民医連会議室(17時～or18時～予定)です。希望分野をアンケートとりましたが、・・・「神経の続き、腎・泌尿器、循環器、体液、運動器、筋・骨格・・・」とバラバラでした。トークライブ形式にしようかと先生、思案して下さっています。春休みにつき、みなさん、どしどし参加して下さいね！

勉強で頭を使った後は・・・

1月恒例鍋パーティ♪



たくさん、考えてお腹がすいたその後は、鍋！！石井先生も一緒に、4グループに分かれ、自己紹介や近況を報告しながら、鍋とチラシずしを食べました。男子学生が多かったせいか、鍋の具材が少し少なかったかも…。みんな2年生は2月に成人実習を控え、1年生はテストを控え、がんばる決意が語られていました。



第7回医系学生と病院職員と地域との交流企画★ごはん会のお知らせ★

今回は、学生さんの要望の多かった、BLS（一時救命処置）講座！！京都民医連中央病院の救急看護認定看護師の柳田睦美さんの講義です。ぜひぜひ参加して下さい。

日時：2016年2月25日（木）18：00～⇒場所：京都民医連中央病院南館（教育センター）3F

講義の後は、場所を京都保健会会議室2Fに移動して、ご飯を食べます。参加費無料です。

参加できる方は、京都保健会の佐藤まで ☎075-813-5901、メール：kangaku@kyoto-hokenkai.or.jp